

【学校の教育目標】 夢と目標を持ち 自ら学び 心豊かで たくましく生きる安岐っ子の育成

※ 毎月に取り組む成果と課題を記載する。

重点目標	担当	達成指標	P(計画)			D(実施)				C(評価)			A(改善)										
			分担	重点的取組	取組指標	プロジェクト会議				各種アンケート 児童 保護者 教員	達成評価 1学期	改善点											
						4月	5月	6月	7月				8月										
<p>学びプロジェクト(滝口、岡野、角田、溝部)</p> <p>①単元テスト【1・2年】国語・算数の単元テストで、期待得点達成率80% 【3～6年】国語・算数・理科の単元テストで、期待得点達成率80% ※平均点85点、80点 1・2年・・・A 3・4年・・・A 5・6年・・・B</p> <p>②発言・発表 ※児童アンケートの回答で、以下のことをめざす。 【1学期】90% 【2学期】95%(1学期以上) 【3学期】100%(2学期以上) ＜昨年度＞ 全学年・・・A</p> <p>③「国東市学力調査」の平均正答率が、全学年、全教科で全国平均を上回る割合(12/15・80%)以上 ＜昨年度＞ 12/15・・・80%</p>	<p>心プロジェクト(長曾我部、権藤、岸岡、伊藤、矢野)</p> <p>※児童・保護者・教職員アンケートの回答で、以下のことをめざす。 ①スリーマン活動に対する肯定的回答 ※「肯定的回答」とは、「いつもできている」「だいたいできている」と回答したもの。 【1学期】90% 【2学期】95%(1学期以上) 【3学期】100%(2学期以上) ＜昨年度＞ 2月・・・88%</p>	<p>体プロジェクト(清水、田邊、横尾、河村)</p> <p>※児童・教職員アンケートの回答で、以下のことをめざす。 ①ニコスポに時間いっぱい一生懸命に取り組む子どもの割合 【1学期】93% 【2学期】95%(1学期以上) 【3学期】100%(2学期以上) ＜昨年度＞ 2月・・・93%</p>	学校	<p>◎課題の解決に向けた、主体的・対話的な授業に取り組む。 ～ユニバーサルな視点を大切に授業の推進～</p>	<p>①ベア・グループ学習を毎時間、1回以上取り入れ、発言・発表の場を位置づける。 ②1日1回以上、授業の振り返り(学習内容・学習活動)をする。 ③毎月、「児童アンケート(発表と学習規律)」と「授業自己振り返りカード(授業改善5点セット)」の記入を行う。 ④1月1回、「授業自己振り返りカード(授業改善5点セット)」に記入して、研究主任が集約、反省、改善する。 ⑤単元テスト結果一覧表データを共有フォルダに入れ、未達成の児童については全職員で補充学習を行い、各学年毎週1回指導する。</p>	①	○学びプロジェクトで取組内容や取組指標を検討した。	○授業改善5点セットでの取り組み、毎月のアンケート項目に設定した。 ○アンケートでは92%で、達成指標の90%を超えた。 ○引き続き毎時間1回以上位置づけるよう取り組んでいく。	○授業の振り返りは、平均3.1点だった。 ○振り返りを意識する。	○達成指標の90%を超えていた。 ○平均2.5で、下がった。単元を終わらせることに追われていた。	B	A	A	<p>引き続き、振り返りカードで意識付けをする。 2学期は削除する。 引き続き行い、意識付けを図る。 集約を知らせ、引き続き還流する。 時間の確保ができなかったため、月・金の朝のチャレンジタイムの時間に全教職員で補充学習をする。 子どもが取り組みやすい方法を確保する。 引き続き提案する。通信で親のメッセージを紹介。</p>									
			家庭	<p>◎「安岐小家庭学習の手引き」をもとに、「安岐っ子がんばり表」を活用して、家庭学習の徹底を図る。</p>	<p>①毎日、声かけや見取りを行い宿題提出100%に取り組む。 ②「安岐っ子がんばり表」の記入を100%にする。</p>	①	○PTA三役会と役員会で取組内容や取組指標を検討し、PTA総会で提案した。	○安岐っ子がんばり表の提出は、83%	○安岐っ子がんばり表の提出は、82%	○宿題の提出状況は、1学期は96%であった。 ○安岐っ子がんばり表の提出は、81%	B	B	A		<p>職員がワンストップ挨拶が定着していない子を把握し、指導を行う。教師がよい挨拶のモデルとなっている。その姿を継続して子どもたちに見せていく。 気になる子の出し合いにおいて、定期的に顔と写真を確認する。データに限らず、事前に集会等で当該児童の位置や服装を知らせて置き、直接確認できるようにする。 引き続き各掃除場所における清掃指導を徹底する。</p>								
			地域	<p>◎学びの教室で、参加する子どもたちに補充学習をする。 ・学校公開日(毎月15日)に参加する。</p>	<p>①放課後学びの教室、年間30回以上実施する。</p>	①	○第1回運営協議会で検討した。	○5月9日にははじめの会、16日・30日に実施した。 ○学校公開日はPTA				B	B			B	<p>児童集会で啓発したい内容を、必要に応じて伝えていく。集会の時間は限られているので、要点を端的に。アンケート結果の掲示場所を増やし、頑張りを認めつつ更なる意欲の向上を図る。 職員がワンストップ挨拶が定着していない子を把握し、指導を行う。教師がよい挨拶のモデルとなっている。その姿を継続して子どもたちに見せていく。 気になる子の出し合いにおいて、定期的に顔と写真を確認する。データに限らず、事前に集会等で当該児童の位置や服装を知らせて置き、直接確認できるようにする。 引き続き各掃除場所における清掃指導を徹底する。</p>						
			学校	<p>◎児童会活動と連携した「スリーマン活動」を実施する。 ※「スリーマン活動」とは、 ◇ハローマン ◇ワンストップ挨拶 ◇ピースマン ◇いじめ0(ゼロ) ◇クリーンマン ◇無言清掃</p>	<p>①月末「児童アンケート(ワンストップ挨拶、いじめ0、無言掃除)」を実施し、取組状況を児童集会等で知らせる。 ②日々、「いつでも、どこでも、だれにでも、自分からワンストップ挨拶」を全職員で、日常的に指導する。 ③毎週の職員暮会で気になる子どもについて出し合い情報の共有をする。【いじめ見逃し0】 ④担当の掃除場所に入り無言清掃を徹底させる。</p>	①	○心プロジェクトで取組内容や取組指標を検討した。	●アンケートの結果「ワンストップあいさつ」「無言そうじ」が達成指標90%に達していない。 ○児童朝会で報告 ○企画委員会が朝のあいさつ運動を実施した。 ○ワンストップ挨拶、無言掃除の目標人数を学級で設定し、帰りの会で振り返り、改善に努める。	○児童朝会でモデルを見せた。 ○よいあいさつができた子どもをほめ、可能な限り学級担任に伝え、紹介してもらう。	○ワンストップ挨拶が93%と意識の高まりがみられた。一部のそうでない子が目立つようになってきた。 ○記録を残していくことは有効であるはずだが、アレルギー対応児童の顔と名前が一致しないことがあった。定期的に見直しが必要である。	B	B	B			<p>児童集会で啓発したい内容を、必要に応じて伝えていく。集会の時間は限られているので、要点を端的に。アンケート結果の掲示場所を増やし、頑張りを認めつつ更なる意欲の向上を図る。 職員がワンストップ挨拶が定着していない子を把握し、指導を行う。教師がよい挨拶のモデルとなっている。その姿を継続して子どもたちに見せていく。 気になる子の出し合いにおいて、定期的に顔と写真を確認する。データに限らず、事前に集会等で当該児童の位置や服装を知らせて置き、直接確認できるようにする。 引き続き各掃除場所における清掃指導を徹底する。</p>							
			家庭	<p>[1]家庭で笑顔であいさつ、手伝いをする。</p>	<p>①毎日、「おはよう」「おやすみ」を各家庭で、言い合う。(ハローマン) ②毎日笑顔で会話する。(ピースマン) ③毎日、手伝い・仕事をする。(クリーンマン)</p>	①	○PTA三役会と役員会で取組内容や取組指標を検討し、PTA総会で提案した。			保護者アンケート97% 保護者アンケート95% 保護者アンケート74%	B	B	B					<p>新たに2学期の目標を持たせ、声かけしながら取り組む。 ○子どもの意欲の湧く種目を設定する。 ○マンネリ化を防ぐために、ニコスポの方法を変え、縦割り班で実施してみる。 ○引き続き声かけをしていく。</p>					
			地域	<p>◎出会ったら声かけ・あいさつをする。</p>	<p>①コミュニティースクールと連携し、老人会等に働きかけて推進を図る。</p>	①	○第1回運営協議会で検討した。	○第1回運営協議会であいさつのではめられた。				B	B						B	<p>新たに2学期の目標を持たせ、声かけしながら取り組む。 ○子どもの意欲の湧く種目を設定する。 ○マンネリ化を防ぐために、ニコスポの方法を変え、縦割り班で実施してみる。 ○引き続き声かけをしていく。</p>			
			学校	<p>◎ニコスポ(火・木・金の13:20～13:30)で全校で運動場を走らせる。 ※「ニコスポ」は、「ニコニコスポーツ」の略。</p>	<p>①個人目標を持たせ、声かけしながら取り組ませる。 ②月末に学年ごとの取り組み状況をグラフ化し、全校集会で結果を知らせる。 ③ニコスポの各種目の達成目標を設定し、達成するように各学級で指導する。</p>	①	○体プロジェクトで取組内容や取組指標を検討した。	○ニコスポの紙に目標を書かせた。 ○声かけすることができた。 ○1学期を元に、新たに2学期の目標を持たせ、声かけしながら取り組む。	○91%で達成指標をクリアできなかった。 ○児童集会で知らせることができなかった。 ○95%めざして取り組む。	○2学期は種目等によってそれぞれの目標を持たせて取り組む。 ●92%で達成指標を達成できなかった。 ○2学期も93%を目指して取り組む。	B	C	B						<p>新たに2学期の目標を持たせ、声かけしながら取り組む。 ○子どもの意欲の湧く種目を設定する。 ○マンネリ化を防ぐために、ニコスポの方法を変え、縦割り班で実施してみる。 ○引き続き声かけをしていく。</p>				
			家庭	<p>◎自力登校をさせる。 ◎朝ごはんを必ず食べさせてから登校をさせる。</p>	<p>①学期ごとの、「自力登校、朝ごはん」の取組結果から、わが子のことを振り返り、できていなかったら改善に努める。</p>	①	○PTA三役会と役員会で取組内容や取組指標を検討し、PTA総会で提案した。	○アンケートの結果「自力登校」の取組は97%と高い。	○アンケートの結果「自力登校」の取組は95%であった。	○自力登校は98%で達成指標をクリアしている。 ○保護者アンケート96% ○学年部集会等で自力登校の声かけができた	B	B	C								<p>新たに2学期の目標を持たせ、声かけしながら取り組む。 ○子どもの意欲の湧く種目を設定する。 ○マンネリ化を防ぐために、ニコスポの方法を変え、縦割り班で実施してみる。 ○引き続き声かけをしていく。</p>		
			地域	<p>◎スクールガードを中心に自力登校を見守る。 ◎子どもの情報を学校へ知らせる。</p>	<p>①自力登校ができていたら、ほめる。 ②登下校、休日の地域での過ごし方を積極的に学校へ伝え、情報を共有する。</p>	①	○第1回運営協議会で検討した。					B	B									C	<p>新たに2学期の目標を持たせ、声かけしながら取り組む。 ○子どもの意欲の湧く種目を設定する。 ○マンネリ化を防ぐために、ニコスポの方法を変え、縦割り班で実施してみる。 ○引き続き声かけをしていく。</p>